

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	1122	(H.22)No.	1122
-----------	------	-----------	------

事務事業名 道路橋長寿命化修繕計画策定事業			
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
都市整備部	道路河川室	中 森 厚 志	63-7693
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	平成 22 年度 ~ 平成 25 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政 策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	4	総合的な交通対策の推進
	施 策	2	道路整備
	小 施 策	3	快適な道路環境の形成
	重点施策コード		

2. 予算区分

会計区分	事業コード	394601
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款 土木費	道路橋長寿命化修繕計画策定事業	
項 道路橋梁費	(小事業名)	
目 橋梁維持費	道路橋長寿命化修繕計画策定事業	

3. 事務事業の概要

事業概要	
<p>橋梁については高齢化が進行し、損傷の発生が懸念される状況が数多くあるため、調査・点検結果に基づき各橋梁の修繕計画を策定することによって、今後の予防的な修繕や架け替えについて国の事業制度を活用する。</p>	

めざす効果(事業目的)
<p>橋長15m以上の54橋については、長寿命化修繕計画に基づき各橋梁の長寿命化ならびに修繕にかかるコスト縮減、及び安全・安心の確保に努めます。 また、主要幹線道等における小規模な橋梁についても、調査点検に基づく修繕計画を策定し、安全・安心の確保に努めます。</p>

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成22年度 (実績・決算見込)		平成23年度 (計画・作成時予算額)		現在の実施手法(複数選択可)		
		[事業内容(事業量)・事業費]		[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の実績・計画		<平成23年度への繰越明許費3,010千円>			補助金・交付金	その他 ()	
		長寿命化修繕計画策定業務委託[L 15m] (54橋) ・委託料3,010千円			平成24年度(計画)	平成25年度(計画)	平成26年度(計画)
直接事業費				5,000千円	3,000千円		
財源内訳 (千円)	国庫支出金			2,750	1,650		
	県支出金						
	地方債						
	その他()						
一般財源	(0)	0	0	2,250	1,350	0	
人工数	職員	0.30人		0.30人	0.30人		
	臨時職員等						
概算人件費	(0千円)	2,190千円	0千円	2,190千円	2,190千円	0千円	
+ 総事業費	(0千円)	2,190千円	0千円	7,190千円	5,190千円	0千円	

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成22年度の()内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。企業会計の財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金を記載しています。平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	件	-	-	54	54	106
	実績		-	-	54		
成果指標	目標	%	-	-	-	-	49.0
	実績		47.5	46.1	45.5		
	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針							

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
既存施設の老朽化により、施設の安全性・信頼性確保のため、計画的で効率の良い維持、修繕が求められる。	日常的な橋梁点検や老朽化に伴う安全・安心を確保するため、計画的な対策を望む。

7. 担当室による点検〔事務事業をより良く(最適化)するために〕

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)	
協働等は実践していますか 実践していない(適当ではない)(へ)	協働等の主な相手先について
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性)	協働等の今後の取組について 市が直接実施
備考欄(工夫・改善等を記載)	
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 現在の手法が妥当である	
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である	
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 新たな財源確保や事業に係る負担の見直しは困難である	
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 困難である	

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法)	特記事項
継続(現行)	
(1) 短期的な(平成23年度)事務事業の工夫・改善など	
(2) 「継続(現行)」の理由、中長期的な(平成24年度以降)事務事業の工夫・改善など ・利用者の安全、安心を確保することが困難となる。 ・今後発生する修繕工事については国の補助制度により実施する。	

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	4020	(H.22)No.	4020
-----------	------	-----------	------

事務事業名	一般市道整備事業		
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
都市整備部	道路河川室、維持管理室	中森 厚志、山岡 寛明	63-7693, 63-7861
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	平成 年度 ~ 平成 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	4	総合的な交通対策の推進
	施策	2	道路整備
	小施策	2	市内道路網の整備
重点施策コード			

2. 予算区分

会計区分	事業コード	393501
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款 土木費	一般市道整備事業	
項 道路橋梁費	(小事業名)	
目 道路新設改良費	一般市道整備事業	

3. 事務事業の概要

事業概要	
市内全域から要望のある、地域内生活道路の局部改良や道路側溝等の整備を実施し、既存道路を活用しながら計画的に実施します。	

めざす効果(事業目的)
生活道路の整備を進め、快適な道路環境及び地域間の道路ネットワークの形成を図ります。

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成22年度 (実績・決算見込)		平成23年度 (計画・作成時予算額)		現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の実績・計画	市道改良(11路線) 44,492千円 測量調査~用地買収~工事 側溝整備 外 28,594千円 <平成23年度への繰越明許費 8,434千円> <平成21年度からの繰越 53,998千円>	市道改良(10路線) 143,000千円 ・工事 L=1,050m ・調査設計 N=6路線 ・用地買収 A=2,500㎡ ・補償補填 N=1式 側溝整備 外 44,500千円	市道改良 115,500千円 ・工事費 ・委託費 ・用地費 ・補償費 ・事務費 側溝整備 外 34,500千円	市道改良 115,500千円 ・工事費 ・委託費 ・用地費 ・補償費 ・事務費 側溝整備 外 34,500千円	市道改良 115,500千円 ・工事費 ・委託費 ・用地費 ・補償費 ・事務費 側溝整備 外 34,500千円	市道改良 115,500千円 ・工事費 ・委託費 ・用地費 ・補償費 ・事務費 側溝整備 外 34,500千円	市道改良 115,500千円 ・工事費 ・委託費 ・用地費 ・補償費 ・事務費 側溝整備 外 34,500千円
直接事業費	(53,998千円) 73,086千円	187,500千円	150,000千円	150,000千円	150,000千円	150,000千円	150,000千円
財源内訳(千円)	国庫支出金 (29,448)						
	県支出金						
	地方債 (24,400) 44,900	175,900	115,500	115,500	115,500	115,500	115,500
	その他()						
	一般財源 (150) 28,186	11,600	34,500	34,500	34,500	34,500	34,500
人工数	職員 (2.20人) 2.82人	2.88人	2.88人	2.88人	2.88人	2.88人	2.88人
	臨時職員等						
	概算人件費 (16,060千円) 20,586千円	21,024千円	21,024千円	21,024千円	21,024千円	21,024千円	21,024千円
	+ 総事業費 (70,058千円) 93,672千円	208,524千円	171,024千円	171,024千円	171,024千円	171,024千円	171,024千円

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。
平成22年度の()内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。
企業会計の財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金を記載しています。
平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	m	-	-	-	1,070	620
	実績		527	554	571		
成果指標	目標	%	-	-	-	-	49.0
	実績		47.5	46.1	45.5		
	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針	引き続き、安全な交通環境を確保するため既存道路の改良を進めます。						

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
今後の人口減少、高齢化社会などにより、地域内の生活道路に対する安全性の向上に関心が高まることが予測される。	厳しい財政状況は理解するが、効果的・効率的な事業促進を望む。

7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)		備考欄(工夫・改善等を記載)
協働等は実践していますか 一部実践している	協働等の主な相手先について 地域づくり組織等	効率的な資材、工法の採用
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) 事業協力	協働等の今後の取組について 継続実施	
(2) (現在の事業費の範囲で)効果をもとめる方法や工夫等を、さらに図ることができますか 検討の余地がある		
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である		
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 新たな財源確保や事業に係る負担の見直しは困難である		
(5) その他、有効性及び効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 困難である		

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法) 継続(現行)	特記事項
(1) 短期的な(平成23年度)事務事業の工夫・改善など	
(2) 「継続(現行)」の理由、中長期的な(平成24年度以降)事務事業の工夫・改善など ・交通の利便性及び通行の安全性の確保が困難となる。 ・一般的に老朽化が進行しているが、優先順位に基づく適切な計画の検討を行なう必要がある。	

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	4022	(H.22)No.	4022
-----------	------	-----------	------

事務事業名				社会資本整備総合交付金事業(道路新設改良)			
担当部局名		担当室名		室長名		連絡先	
都市整備部		道路河川室、維持管理室		中森 厚志、山岡 寛明		63-7693、63-7861	
新・継	事業期間			根拠法令等			
継続	平成 21 年度 ~ 平成 25 年度						

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	4	総合的な交通対策の推進
	施策	2	道路整備
	小施策	2	市内道路網の整備
	重点施策コード		

2. 予算区分

会計区分		事業コード	392001
一般会計		(中事業名)	予算書事業名
款	土木費	社会資本整備総合交付金事業(道路新設改良)	
項	道路橋梁費	(小事業名)	
目	道路新設改良費	社会資本整備総合交付金事業(道路新設改良)	

3. 事務事業の概要

事業概要	
<p>国の社会資本整備総合交付金制度を活用し、既存道路の利便性・安全性向上を図るため、計画的に道路整備を実施します。</p>	

めざす効果(事業目的)
<p>観光ルートや生活道路として重要な役割を担う各路線を整備することにより、交通便利性の向上を図り、円滑で安全な通行を確保します。</p>

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成22年度 (実績・決算見込)		平成23年度 (計画・作成時予算額)		現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の実績・計画	市道改良(3路線) 35,164千円 ・改良工事 L=280m ・測量調査 N=2路線 ・用地買収 A=19.85㎡	市道改良(6路線) 156,300千円 ・改良工事 L=780m ・測量調査 N=3路線 ・用地買収 A=5,400㎡	側溝整備 外 14,000千円		補助金・交付金		
	22年度への繰越明許費 49,222千円 市道改良(1路線)				その他 ()		
	23年度への繰越明許費 11,509千円						
直接事業費	(49,222千円) 35,164千円	170,300千円	207,300千円	242,500千円			
財源内訳 (千円)	国庫支出金	(29,884) 16,160	92,950	113,300	132,000		
	県支出金		0	0	0		
	地方債	19,200 16,300	75,600	81,400	95,200		
	その他()		0	0	0		
一般財源	(138) 2,704	1,750	12,600	15,300	0		
人工数	職員	(2.20人) 2.48人	2.44人	2.44人	2.44人		
	臨時職員等						
概算人件費	(16,060千円) 18,104千円	17,812千円	17,812千円	17,812千円	0千円		
+ 総事業費	(65,282千円) 53,268千円	188,112千円	225,112千円	260,312千円	0千円		

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。
 平成22年度の()内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。
 企業会計の財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金を記載しています。
 平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	m	-	-	-	1,075	683
	実績		638	720	457		
成果指標	目標	%	-	-	-	-	49.0
	実績		47.5	46.1	45.5		
	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針							

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
国、県事業の促進に関連し、当該事業制度の活用による市道整備の関心が高まることが予測される。	厳しい財政状況は理解するが、効果的・効率的な事業促進を望む。

7. 担当室による点検【事務事業をより良く(最適化)するために】

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)	
協働等は実践していますか 一部実践している	協働等の主な相手先について 地域づくり組織等
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) 事業協力	協働等の今後の取組について 継続実施
備考欄(工夫・改善等を記載)	
(2) (現在の事業費の範囲で)効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 検討の余地がある	効果的な資材、工法の採用
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である	
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 新たな財源確保や事業に係る負担の見直しは困難である	
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 困難である	

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法)	特記事項
継続(現行)	
(1) 短期的な(平成23年度)事務事業の工夫・改善など	
(2) 「継続(現行)」の理由、中長期的な(平成24年度以降)事務事業の工夫・改善など 観光ルートや地域間を結ぶネットワーク道路の整備については、活力ある地域・より良い生活環境の確保等の重要課題であるため、引き続き国の事業の動向を注視し、国費を有効に活用できる整備計画を検討する。	